

新治小学校だより



ひびく心 はずむ体 見つめる目

～新治のよさを持続して生かしながら、
よりよい社会を創ろうとする子どもを育む学校を目指して～

令和4年度

10月号

令和4年9月30日



前期を振り返って

校長 川島 広子

9月になり、雨や台風など不安定な天候が続いています。ひと雨降るごとに新治の谷戸は確実に涼しくなり、秋が訪れていると実感する今日この頃です。先日、新治市民の森をハイキングしてきましたが、谷戸田の田んぼには赤い彼岸花が群生し、金色の稲穂と青く高い空とが非常に美しい秋の風景を織りなしていました。

さて、10月7日（金）で早くも前期が終了します。今回の「新治小学校だより」は前期の主な活動を振り返りたいと思います。



【わくわく運動会】

昨年度同様、コロナ感染予防の観点からプログラムを精選し午前開催としました。コンパクトな形となりましたが、子どもたちは持てる力を十分に発揮し、素晴らしい演技・力いっぱいの徒競走・白熱のリレーで観ている人たちを魅了しました。皆さんに応援して頂き、子どもたちも大満足でした。

【6年生の日光修学旅行】

7月に入るとコロナ第7波で横浜市では感染者が激増し、実施の可否が危ぶまれましたが無事に実施できました。6年生にとっては仲間と行ける小学校生活最初で最後の宿泊行事。「日光サイコー！」という声が聞かれ、最高の思い出となった2日間でした。

【ツチガエルの放流】

横浜では新治町にしか生息していない、ツチガエルのオタマジャクシを横浜市繁殖センターの協力のもと、ビオトープに400匹放流しました（夏休み中にさらに約千匹追加放流）。自然の中では1%しか成体になれないという厳しい状況下、ビオトープ担当の5年生は一生懸命環境を整えていました。9月にはオタマジャクシが無事に育っていることを発見し、子どもたちは大喜びでした。



【社会科見学】

6月は5年生の日産追浜工場見学と4年生の清掃工場見学、3年生の森永エンゼルミュージアムの社会科見学がありました。コロナ禍で2年間中止していた行事ですが、観光バス利用学年は2席を一人で使用するなどの感染対策を講じて実施し、実体験を通じた主体的な学びができました。

【施設の修繕、設置工事等】

子どもたちや地域の方々、教職員が安心安全に学校を利用できるように、環境を整えました。一例ですが、プールの見学者用ベンチの交換、グラウンドの水飲み場や観覧席のタイル補修、外トイレの扉修理、災害用トイレの設置、ステージ壁の塗り替え、体育館前街灯の改修 LED化などです。職員室や倉庫も夏休みに大掃除し、11月には教室増設工事・体育館入口タイルの補修を予定しています。



【はぐくみ協働運営協議会（5月と9月に2回開催済）】

上記の前期活動内容を9月7日の第2回はぐくみ協働運営協議会で報告しました。委員の皆様からは、学校がコロナ禍においても行事を工夫し実施していること。災害時に地域住民が使用する学校施設を積極的に整備していること。子どもたちの落ち着いた授業態度と教員の授業工夫などがとても良いとの感想を頂きました。また、地域も学校運営に協力するので声を掛けてくださいとありがたいご意見も頂きました。

今年の夏はコロナ第7波と、例年のない猛暑での熱中症対策とが重なり、安全な学校運営に向けた非常に難しい対応を迫られました。しかし、学級閉鎖も重篤な熱中症もなく前期を終えることができそうです。子どもたちが元気に学校生活を過ごすことができたのも、地域の皆様や保護者の皆様のご協力のお陰です。後期も子どもたちが安心して楽しく学べるよう、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。